

〔曲名〕 Impressioni d'Oriente Prima Suite

東洋の印象 第一組曲

1.Paesaggio

眺望

2.Danza di Almee

エジプト舞姫の踊り

3.Carovana

隊商

〔曲種〕 suite

組曲

〔作曲者〕 Amedeo Amadei

アメディオ アマディ

〔編曲〕 中野二郎

Jiro Nakano

作者アマディの娘カルラ未亡人（フェルラーゼ）より最近贈られたものである。

東洋の印象第二組曲の方は既に第11集の方で紹介。

作品番号も第一が413番、第二が414番となっているのは引き続いて作曲されたものであろう。

第一楽章の眺望は勿論広漠たる砂漠をさすもので、黄色い砂の広がりや青空、静寂、世界中どこへ行ってもサハラほど静かなところはないという。

人々が寝静まった真夜中でさえ、サハラの真昼に比べれば騒がしいと云う。

まして降るような星のまたたく夜空を仰ぐとき、その静けさに感動を覚えないものはないと云われる。

眺望と云ってもこれは大自然の巨大な景観と云うべきかもしれない。

アルジェリアでは女の子が十才前後になると昔から伝えられた歌と踊りを教えられる習性があり、之をアルメールと称して、旅人は之に慰められたと云う。

我々はその地を踏んだことのない者の砂漠のイメージはオアシスと駱駝と椰子の木くらいであるが、一口に砂漠と云っても大山脈、断崖、平原、溪谷、があり驚くほど変化に富んでいるという。

今では開発が急速に進み、優雅に見える隊商の姿も、消えゆく歴史の一頁になるだろうと云われてい

る。

マンドリン古典合奏曲集14集より